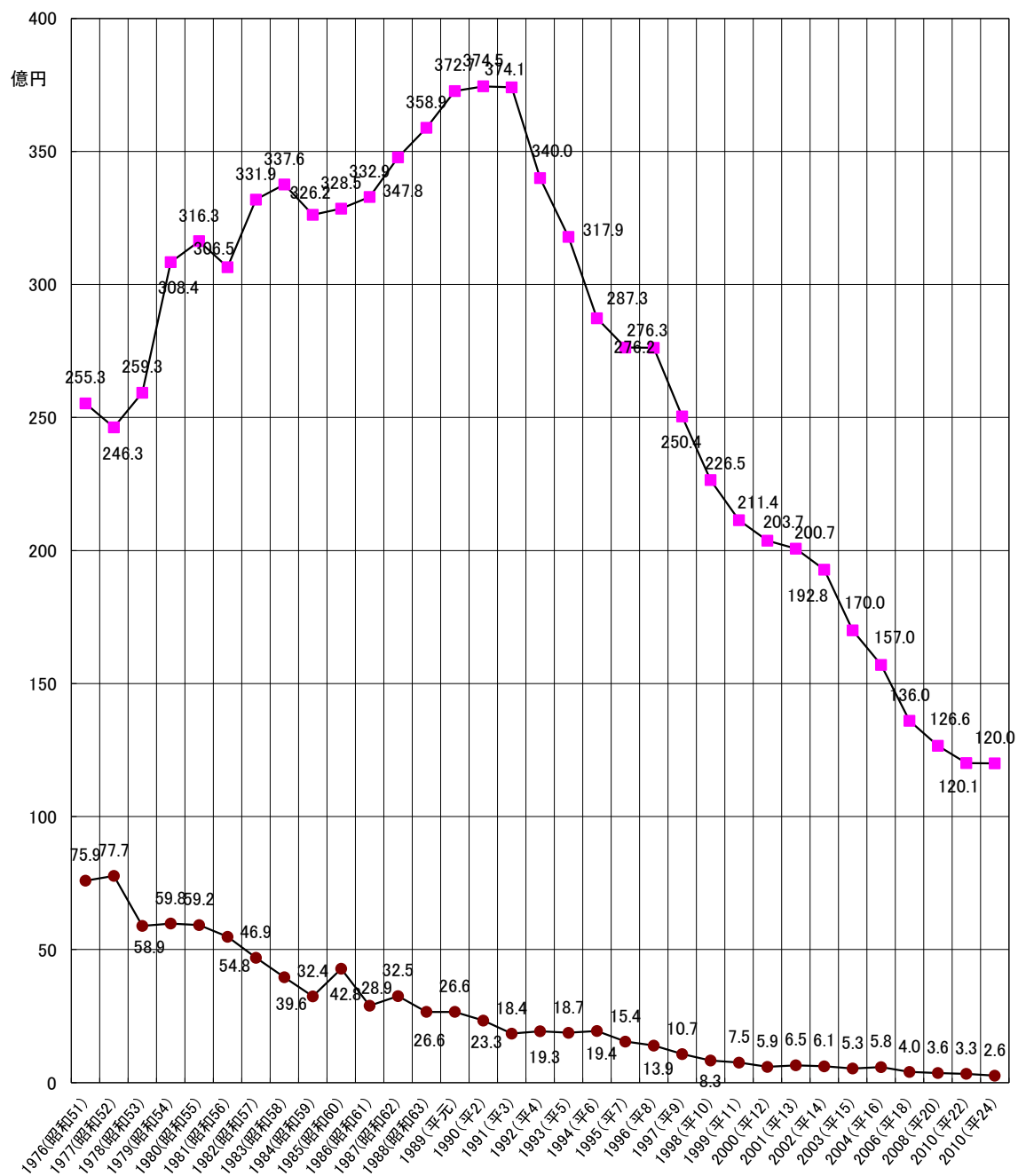


【銅・鉄器販売額の推移】

年	銅器(非鉄合金含む)		鉄器	
	販売額(千円)	前回比(%)	販売額(千円)	前回比(%)
2004(平16)	15,699,548	-	580,742	-
2006(平18)	13,596,361	86.6	401,727	69.2
2008(平20)	12,663,332	93.1	364,220	90.7
2010(平22)	12,008,207	94.8	325,866	89.5
2012(平24)	12,000,720	99.9	261,688	80.3



【銅器品種別販売額】

品 種	2012年(平成24年)		2010年(平成22年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
神 仏 具	7,474,367	62.3	7,024,224	58.5	106.4
室 内 置 物	520,669	4.3	1,048,951	8.7	49.6
花 器	453,658	3.8	479,888	4.0	94.5
屋 外 置 物	579,812	4.8	494,470	4.1	117.3
香 炉	439,440	3.7	288,950	2.4	152.1
茶 道 具	175,618	1.4	168,727	1.5	104.1
そ の 他	2,357,156	19.6	2,502,997	20.8	94.2
計	12,000,720	99.9	12,008,207	100.0	99.9

※その他…文具・小物等、パネル、エクステリア製品等。

【鉄器品種別販売額】

品 種	2012年(平成24年)		2010年(平成22年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
室 内 置 物	54,850	21.0	124,182	38.1	44.2
文具・小物等	22,467	8.6	36,236	11.1	62.0
茶 道 具	9,408	3.6	6,852	2.1	137.3
そ の 他	174,964	66.9	158,596	48.7	110.3
計	261,688	100.1	325,866	100.0	80.3

※その他…花器、屋外置物、香炉、パネル等。

【銅器品種別販売額及び割合の推移】

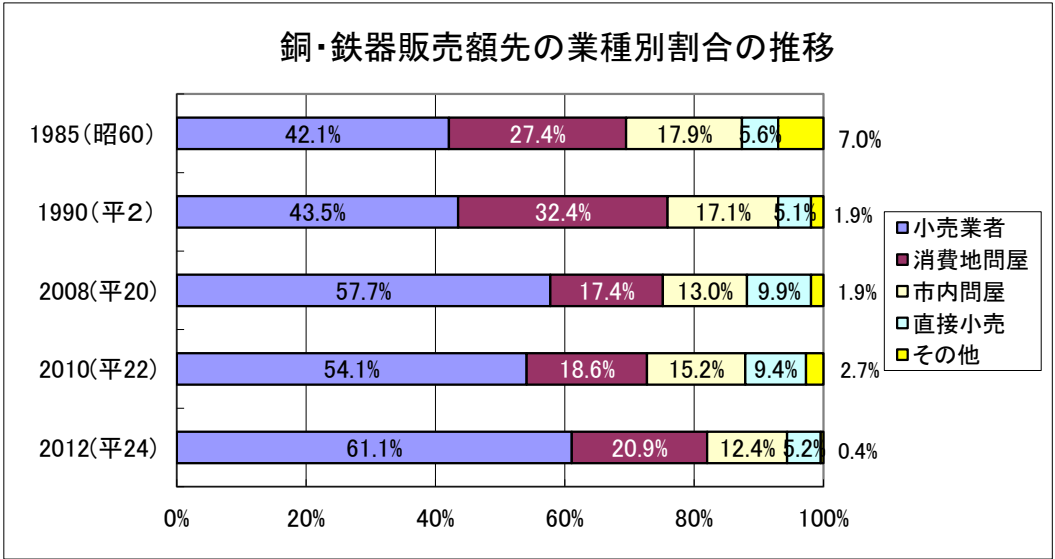
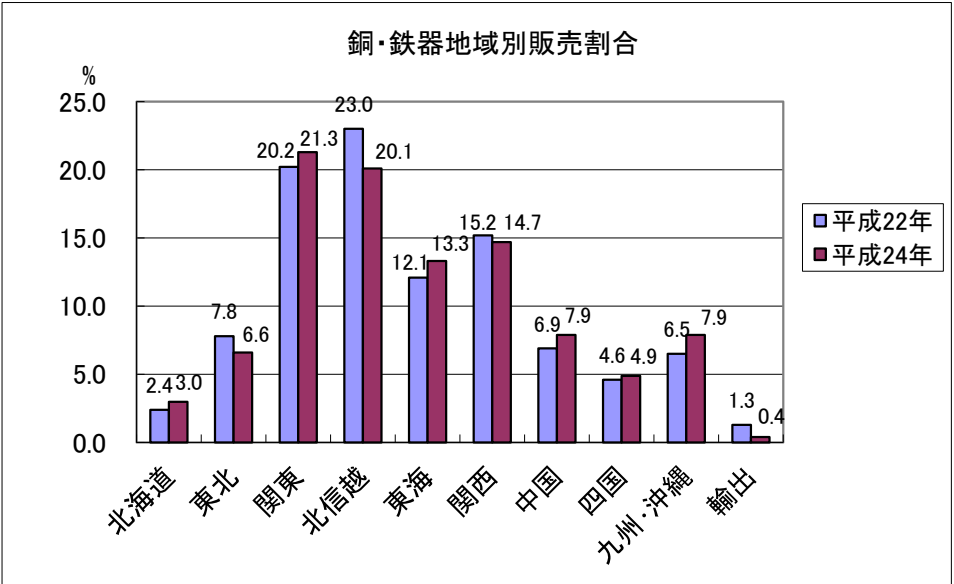
(単位:億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2008(平20)		2010(平22)		2012(平24)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	121.6	37.0%	143.8	38.4%	70.9	56.0%	70.3	58.5%	74.8	62.3%
室 内 置 物	58.5	17.8%	52.2	13.9%	12.8	10.1%	10.5	8.7%	5.2	4.3%
花 器	51.5	15.7%	61.6	16.4%	6.6	5.2%	4.8	4.0%	4.5	3.7%
屋 外 置 物	26.6	8.1%	38.5	10.3%	5.4	4.3%	4.9	4.1%	5.8	4.8%
香 炉	16.6	5.1%	17.7	4.7%	4.2	3.3%	2.9	2.4%	4.4	3.7%
茶 道 具	21.7	6.6%	25.3	6.8%	2.3	1.8%	1.7	1.4%	1.8	1.5%
そ の 他	32.0	9.7%	35.4	9.5%	24.5	19.3%	25.0	20.8%	23.6	19.7%
計	328.5	100.0%	374.5	100.0%	126.7	100.0%	120.1	100.0%	120.1	100.0%

【鉄器品種別販売額及び割合の推移】

(単位:億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2008(平20)		2010(平22)		2012(平24)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室 内 置 物	25.3	59.1%	12.3	52.8%	1.8	50.0%	1.2	36.4%	0.5	20.8%
文具・小物等	7.3	17.1%	4.9	21.0%	0.6	16.7%	0.4	12.1%	0.2	8.3%
茶 道 具	3.4	7.9%	3.0	12.9%	0.1	2.8%	0.1	3.0%	0.1	4.2%
花 器	1.7	4.0%	0.8	3.4%	0.4	11.1%	0.4	12.1%	0.4	16.7%
そ の 他	5.1	11.9%	2.3	9.9%	0.7	19.4%	1.2	36.4%	1.2	50.0%
計	42.8	100.0%	23.3	100.0%	3.6	100.0%	3.3	100.0%	2.4	100.0%



【鋳造法別事業所数と生産額】

○銅器

製法	2012年(平成24年)			2010年(平成22年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	31	2,002,426	44.8	30	1,819,673	39.9	103.3	110.0
焼型	10	53,533	1.2	8	81,809	1.8	125.0	65.4
双型	6	159,297	3.6	6	394,929	8.7	100.0	40.3
ガス型	11	475,221	10.6	13	541,132	11.9	84.6	87.8
蝋型	2	7,000	0.2	2	7,000	0.2	100.0	100.0
ロストワックス	9	308,923	6.9	8	364,906	8.0	112.5	84.7
金型	4	441,612	9.9	3	320,659	7.0	133.3	137.7
その他	19	1,025,931	22.9	22	1,034,461	22.7	86.4	99.2
計	92	4,473,942	100.0	92	4,564,569	100.0	100.0	98.0

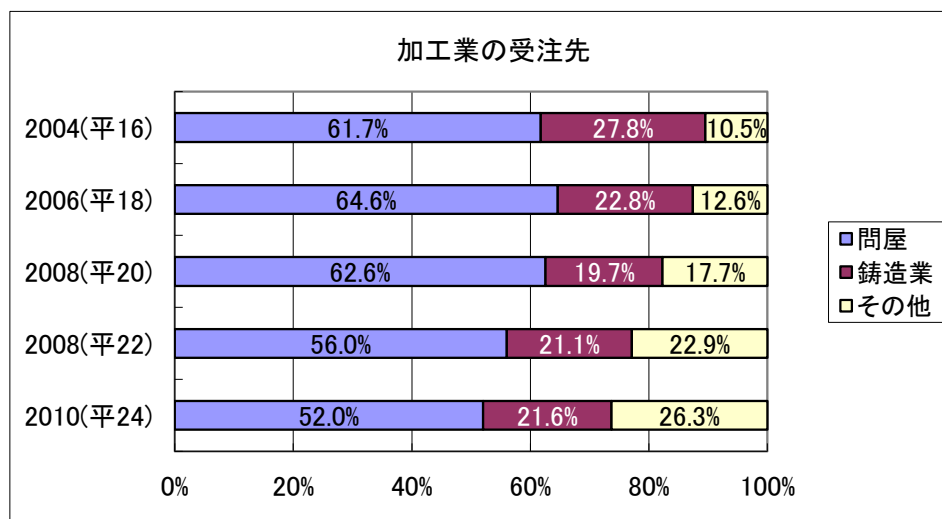
※同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上した。

○鉄器

製法	2012年(平成24年)			2010年(平成22年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	2	67,341	67.9	3	57,720	64.8	66.7	116.7
双型	2	31,840	32.1	2	31,371	35.2	100.0	101.5
計	4	99,181	100.0	5	89,091	100.0	80.0	111.3

【加工工程別事業所数と加工額】

品種	2012年(平成24年)			2010年(平成22年)			前回比(%)	
	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額
溶接	4	16,042	2.2	4	17,834	2.5	100.0	90.0
研磨	21	146,817	20.2	24	143,791	19.9	87.5	102.1
彫金	18	51,077	7.0	22	50,307	7.0	81.8	101.5
着色	44	407,994	56.1	45	404,927	56.0	97.8	100.8
仕上げ	11	104,925	14.4	12	105,886	14.7	91.7	99.1
計	98	726,855	100.0	107	722,745	100.0	91.6	100.6



【事業所数と従事者数】

○問屋

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	135	125	78	77	68	88.3
従事者数(人)	1,599	1,400	670	633	595	94.0

※()…アンケート回答社数 (54) (50) (47)

○鋳造

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	164	151	79	79	71	89.9
従事者数(人)	1,750	1,573	712	624	615	98.6

※()…アンケート回答社数 (55) (53) (49)

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	4	1
従事者数(人)	40	10

○溶接

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	12	10	5	4	4	100.0
従事者数(人)	28	21	9	7	7	100.0

○研磨

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	49	49	26	24	21	87.5
従事者数(人)	91	97	47	42	39	92.9

○彫金

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	45	39	22	22	18	81.8
従事者数(人)	110	97	44	42	22	52.4

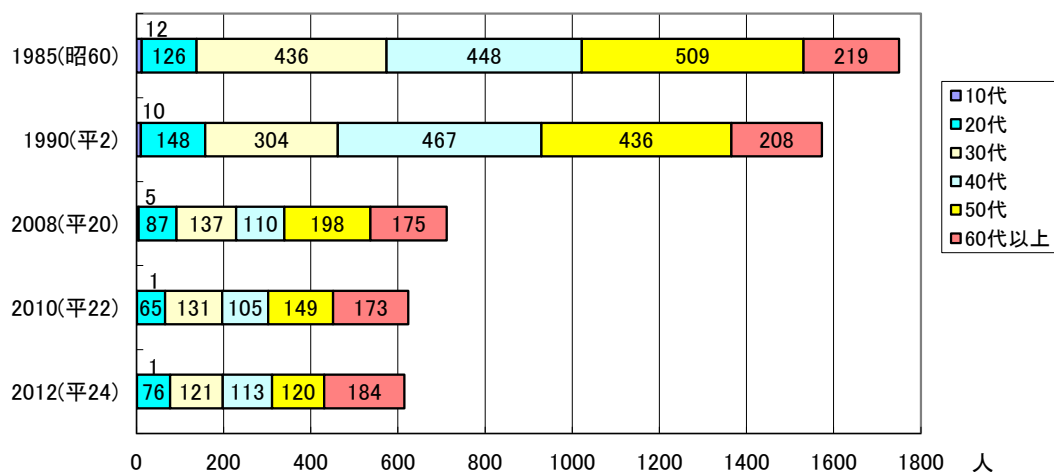
○着色

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	76	69	46	45	44	97.8
従事者数(人)	410	367	132	122	115	94.3

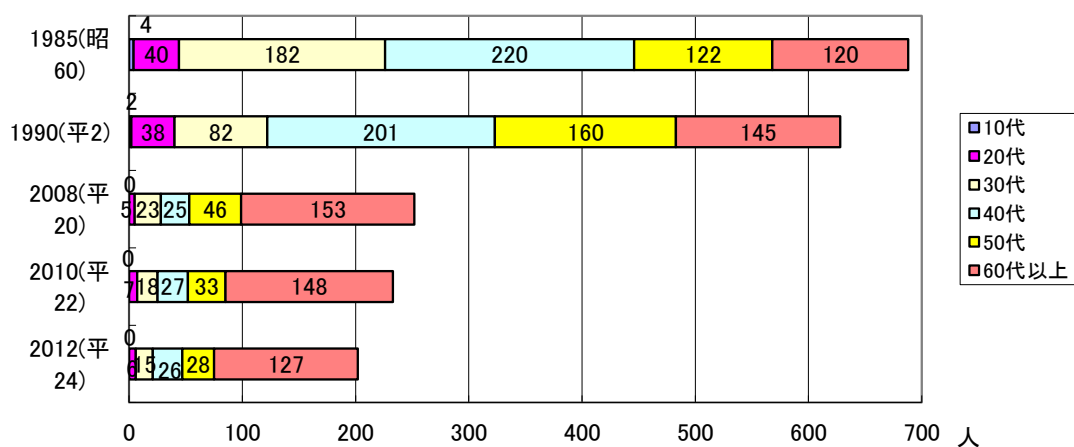
○仕上げ

	1985(S60)	1990(H2)	2008(H20)	2010(H22)	2012(H24)	前回比(%)
事業所数(社)	22	18	13	12	11	91.7
従事者数(人)	49	46	20	20	19	95.0

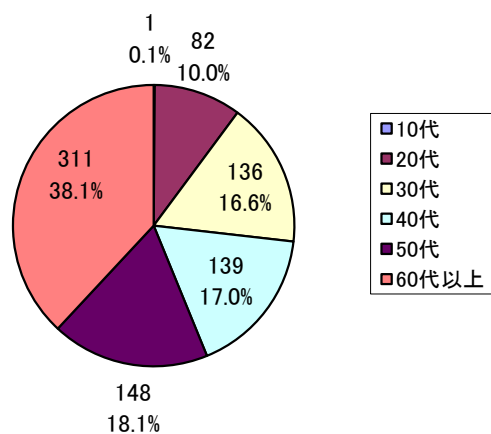
鋳造業従事者の年齢構成の推移



加工業従事者の年齢構成の推移

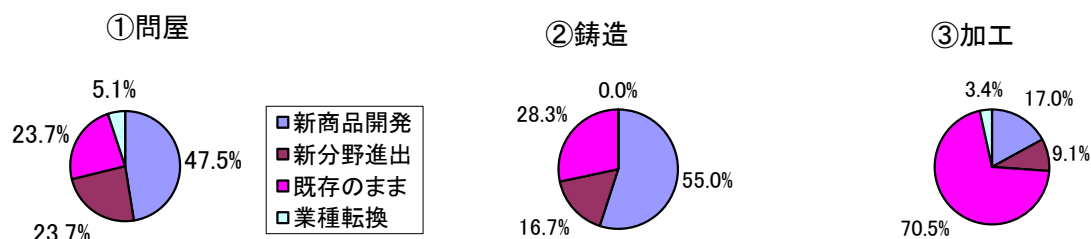


銅器製造及び加工業者の年齢構成



【意識調査について】

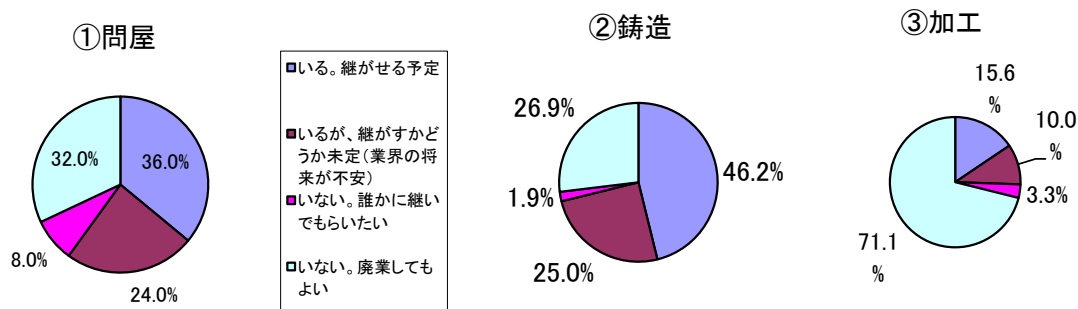
1 今後の方向性



問屋や鑄造業者については、「新商品開発を考えている」との回答割合が高い。販売額、出荷額の減少が続く中、海外市場への積極的な取り組みなど、新たなマーケットの開拓を視野に入れている事業者も少なくない。一方、加工業者は「既存のままでよい」との回答割合が7割以上と高い。高岡銅器の加工技術の高さは、高い評価を得ており、従来どおり自分の持つ技術・技法にこだわる事業者の姿勢がうかがえる。

なお、問屋、鑄造、加工業者ともに「業種転換を図る」と回答した事業者の割合は低い。銅器製造や取扱いを廃止し、休業・廃業している事業者が増加している。小規模事業者が多い市内の事業者にとっては、厳しい経営環境が続いているといえる。

2 後継者について



問屋や鑄造業者については、「後継者候補がいる」との回答が比較的高いが、後を継がせるかどうか未定の割合も同様に高くなっている。後を継がせようにも、業界の将来が不安で後を継いでほしいと言えない、という事業者の苦悩がうかがえる。

加工業者については、「自分の代で廃業しても良い」との回答が7割以上と非常に高い。これは、高齢化が進んでいること、受注が減少し改善が見られないこと、職人であるため定年制がないことなどが理由として考えられる。これまで培ってきた高度な伝統技術・技法を伝承していくため、早急な後継者対策が必要である。